

令和8年6月1日

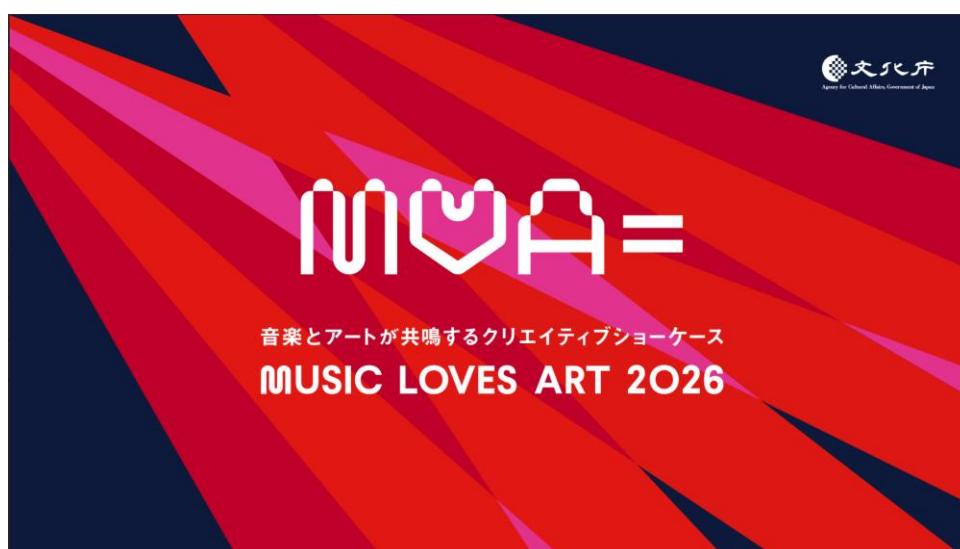
## 音楽とアートの融合による新たな可能性を発信するプロジェクト

### 「MUSIC LOVES ART 2026」を開催。

国際音楽賞「MUSIC AWARDS JAPAN 2026」に合わせ、  
東京都で「音楽とアートが共鳴するクリエイティブショーケース」を展開。

文化庁は、我が国の文化芸術のグローバルな発信拠点の形成に向け、音楽・アートの異分野融合を軸とする新たな文化創造プロジェクトを推進しています。

このたび、その一環として、世界に発信可能な作品をアーティストとともに創出するプロジェクト「MUSIC LOVES ART 2026」を、令和8年6月1日（月）から13日（土）まで開催します。



MUSIC LOVES ART 2026 キービジュアル

#### ■ 5年目の MUSIC LOVES ART、これまでに培ってきた多様な連携の成果を生かし、MUSIC AWARDS JAPAN へ

「MUSIC LOVES ART」はこれまで、SUMMER SONIC との連携を通じて、音楽とアートが交差する新たな文化体験を創出してきました。2026年で5年目を迎える今年は、音楽人5,000人が選ぶ国際音楽賞 **MUSIC AWARDS JAPAN 2026** とコラボレーション。これまで MUSIC LOVES ART を彩ってきた作品や参加アーティストの軌跡も振り返りながら、新たな作品とともに展開します。

「MUSIC LOVES ART 2026」は、「**音楽とアートが共鳴するクリエイティブショーケース**」をコンセプトに開催。MUSIC AWARDS JAPAN の受賞者に贈られるトロフィー「**THE RUBY**」をモチーフにした作品を含め、総勢 9 組のアーティストによる作品が、渋谷・お台場・青海エリアに出現します。

さらに、本プロジェクトの取り組みや「音楽×アート」が切り拓く新たな文化創造の可能性については、アジア最大級の音楽ビジネスカンファレンス **東京国際ミュージック・マーケット (Tokyo International Music Market)** においても特別セッションとして発表。展示にとどまらず、日本発の文化創造モデルとして広く発信していきます。

■ **渋谷での展示作品**（展示期間：6月1日（月）～13日（土）※展示期間が異なる場所には日程を付記）

センター街のストリートボードや道玄坂フラッグ、渋谷ストリームサウンドアートなど、アーティストによる作品を展示します。街を歩き交う人々が日常の中でアートに触れられるよう、渋谷の各所で展示や演出を行います。

渋谷ストリートボード（展示期間：6月1日（月）～13日（土））※展示場所は地図を参照

			
<p><b>掲出場所</b> ①</p> <p><b>アーティスト名</b> 岡本太玖斗</p> <p><b>作品名</b> TRIBUTE</p>	<p><b>掲出場所</b> ①</p> <p><b>アーティスト名</b> いすたえこ</p> <p><b>作品名</b> TRIBUTE</p>	<p><b>掲出場所</b> ②</p> <p><b>アーティスト名</b> 岡本太玖斗</p> <p><b>作品名</b> EMPOWER</p>	<p><b>掲出場所</b> ③</p> <p><b>アーティスト名</b> 田村育歩</p> <p><b>作品名</b> POP CULTURE</p>
			
<p><b>掲出場所</b> ④</p> <p><b>アーティスト名</b> 田村育歩</p> <p><b>作品名</b> GROOVE</p>	<p><b>掲出場所</b> ⑤</p> <p><b>アーティスト名</b> いすたえこ</p> <p><b>作品名</b> HIP HOP</p>	<p><b>掲出場所</b> ⑥</p> <p><b>アーティスト名</b> いすたえこ</p> <p><b>作品名</b> MUSIC LOVES ART 2026 キービジュアル</p>	<p><b>掲出場所</b> ⑦</p> <p><b>アーティスト名</b> 渡辺 明日香</p> <p><b>作品名</b> Women in Music</p>
	<p><b>(掲出先マップ)</b></p> 		
<p><b>掲出場所</b> ⑧</p> <p><b>アーティスト名</b> 渡辺 明日香</p> <p><b>作品名</b> SPIRIT</p>			

道玄坂・文化村通 街路灯フラッグ (展示期間 : 6月6日(土) ~13日(土))

				
<p><b>アーティスト名</b> いすたえこ</p> <p><b>作品名</b> MUSIC LOVES ART 2026 キービジュアル</p>	<p><b>アーティスト名</b> いすたえこ</p> <p><b>作品名</b> MODULATION (MUSIC LOVES ART 2025 作品)</p>	<p><b>アーティスト名</b> GOO CHOKI PAR</p> <p><b>作品名</b> Sound in Motion (MUSIC LOVES ART 2025 作品)</p>	<p><b>アーティスト名</b> 田村育歩</p> <p><b>作品名</b> 「桃源郷とタクシー」 MLA2025 Visual Edit (MUSIC LOVES ART 2025 作品)</p>	<p><b>アーティスト名</b> magma</p> <p><b>作品名</b> Stereo Vacation</p>




**MUSIC AWARDS  
JAPAN WEEK**



渋谷ストリーム 2階貫通通路 (展示期間 : 6月8日(月) ~13日(土) 予定)

サウンドアーティスト evala によるインスタレーションを期間限定で展開します。開業時に制作され今もなお渋谷ストリームに流れ続けている evala による常設の楽曲が、新たに描き直され、立体的な没入型体験へ。設立当時のサラウンドシステムと壁面サインージュを活かし、音が渋谷ストリームを駆け巡る特別な響きを創出します。

参加アーティスト

	<p><b>アーティスト名</b> evala</p> <p><b>プロフィール</b> 音楽家、サウンドアーティスト。「See by Your Ears」主宰。既存のフォーマットに依拠しない立体音響システムを駆使し、その場所固有の響きの中で音を編み上げる独自の“空間的作曲”によって、聴覚の潜在的な可能性をひらくインスタレーションを展開。無響室から庭園、廃墟、公共空間、美術館や劇場まで、多様な空間で作品を発表し国際的に高い評価を得ている。2025年、空間音響芸術に対する先駆的な探求と、サウンドアートの可能性を広げた功績により、国際賞アルス・エレクトロニカ 2025 富田勲特別賞 (Isao Tomita Special Prize) を受賞。2026年、令和7年度(第76回)芸術選奨 文部科学大臣新人賞を受賞。</p>
---	--

■ お台場エリア(TOYOTA ARENA TOKYO )での展示作品 (展示期間 6 月 13 日 (土) )

MUSIC AWARDS JAPAN と連携し、特別展示を実施。授賞式のレッドカーペットが敷かれた TOYOTA ARENA TOKYO を舞台に、受賞トロフィー「THE RUBY」をモチーフとした作品を中心に、音楽とアートが交差する象徴的な展示を展開します。

参加アーティスト (五十音順)

	<p><b>アーティスト名</b> edenworks</p> <p><b>プロフィール</b> フラワーアーティスト篠崎恵美が主宰する花や植物を扱うクリエイティブスタジオ。 「花を棄てずに未来に繋げる」を理念に掲げ、独自の感性で花の可能性を引き出し、花のロスを最大限に無くすクリエイションをする。 ブランドとのコラボレーションやインスタレーションなど、国内外で活動中。</p>
	<p><b>アーティスト名</b> GOO CHOKI PAR + IE3</p> <p><b>プロフィール</b> GOO CHOKI PAR (グーチョキパー) は、2015 年に浅葉球、飯高健人、石井伶の 3 人によって結成されたデザイン &amp; アートユニット。言語や思考を超えたビジュアルコミュニケーションを軸に様々な領域で活動。近年の主な仕事に大河ドラマ「どうする家康」のタイトルロゴデザインをはじめ、ISSEY MIYAKE、New balance、Red Bull などのグラフィックを手がける。東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会ではパラリンピックのアイコンックポスターを制作。ビジュアルプログラミングは IE3 が担当。</p>
	<p><b>アーティスト名</b> 藤元翔平</p> <p><b>プロフィール</b> 藤元翔平 (1989 年生まれ) は、原初的な視点から知覚の本質を探求している。様々な現象や形態の背後にあるデータや事実を抽出し、再構築するプロセスを通じて、本質を際立たせ、有機的な複雑さを備えた感覚体験を生み出す。デジタルと物理的な性質を合わせることで、人間のリアルな解釈に揺さぶりをかけ、個々の知覚を超えた普遍的な感覚を呼び覚ます。現実を形作る目に見えない構造を強調し、知覚という行為そのものとの対話を促す。</p>
	<p><b>アーティスト名</b> magma</p> <p><b>プロフィール</b> 杉山純と宮澤謙一によるアーティストユニット。 廃材や樹脂、電動器具などを組み合わせ創り出す独自の世界観で、作品制作にとどまらず家具やプロダクト、空間演出ディレクション・制作まで幅広く手がける。 どこか懐かしさを覚えるアナログ感とクレイジーな色彩が融合した作品群は、国内外から注目を集めている。</p>

## ■第 23 回東京国際ミュージック・マーケットにて文化庁特別セッションを開催

文化庁プロジェクト「MUSIC LOVES ART」の取り組みを事例に、音楽とアートが交差することで生まれる新たな価値創出や、文化創造の可能性について議論。

さらに、都市空間や企業、社会との接点の中で、アートと音楽の協業がどのように事業や新たなカルチャーを生み出していくのか、そのビジネスポテンシャルにも迫ります。

### ＜第 23 回東京国際ミュージック・マーケット（23rdTIMM）ビジネスセミナー＞

セッション日時	2026年6月11日（木）16:45～17:45
タイトル	【文化庁特別セッション】MUSIC LOVES ART ～「音楽×アート」が拓く、新たな可能性～
概要	音楽とアートの境界が融合する新たなカルチャー創造を目指し、文化庁プロジェクト「MUSIC LOVES ART」の事例を通じ、アートと音楽の協業による新しい価値創出や事業可能性を探ります。
登壇者	MODERATOR 生田綾   CINRA, Inc.   「CINRA」編集長  SPEAKERS 清水直樹   株式会社クリエイティブマンプロダクション   代表取締役 evala   音楽家・サウンドアーティスト 竹川潤一   株式会社デビッドワッツ   クリエイティブディレクター

## ■MUSIC LOVES ART × MUSIC AWARDS JAPAN コラボうちわ



MUSIC AWARDS JAPAN のキービジュアルに加え、参加アーティストによる特別デザインを施した限定うちわ（全 5 種想定）を制作。

渋谷・お台場・青海エリアを巡りながら、音楽とアートの魅力を身近に感じる作品として展開します。

【配布期間】2026年6月8日（月）～6月13日（土）

【配布場所】詳細は公式ホームページをご覧ください。

【 開催概要 】

名称	MUSIC LOVES ART 2026
会期および会場	令和8年6月1日（月）～13日（土）
	渋谷ストリートボード 6月1日（月）～13日（土）
	道玄坂・文化村通 街路灯フラッグ 6月6日（土）～13日（土）
	渋谷ストリーム2階貫通通路 6月8日（月）～13日（土）
	MUSIC LOVES ART × MUSIC AWARDS JAPAN コラボうちわ 6月8日（月）～13日（土）
	第23回東京国際ミュージック・マーケット 文化庁特別セッション 6月11日（木）
	TOYOTA ARENA TOKYO 6月13日（土）
主催	文化庁
特別協力	MUSIC AWARDS JAPAN 2026（MUSIC AWARDS JAPAN 実行委員会）、東京国際ミュージック・マーケット（一般財団法人 日本音楽産業・文化振興財団）、SUMMER SONIC（株式会社クリエイティブマンプロダクション）
協力	渋谷ストリーム
事務局	株式会社 SIGNING
特設 Web サイト	<a href="https://musiclovesart.com">https://musiclovesart.com</a>

<担当> 文化庁 文化経済・国際課  
堀口、伊藤、森田  
電話：03-5253-4111（代表）  
03-6734-2836（直通）